

予防しよう 転倒・転落!



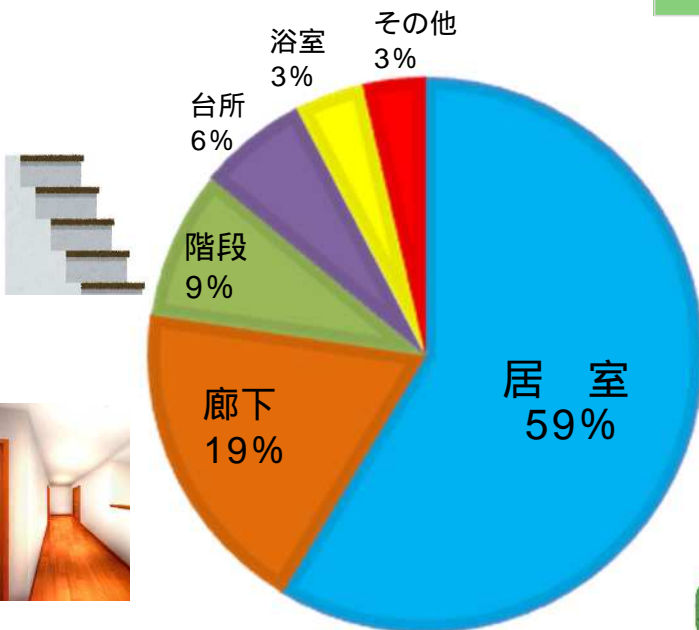
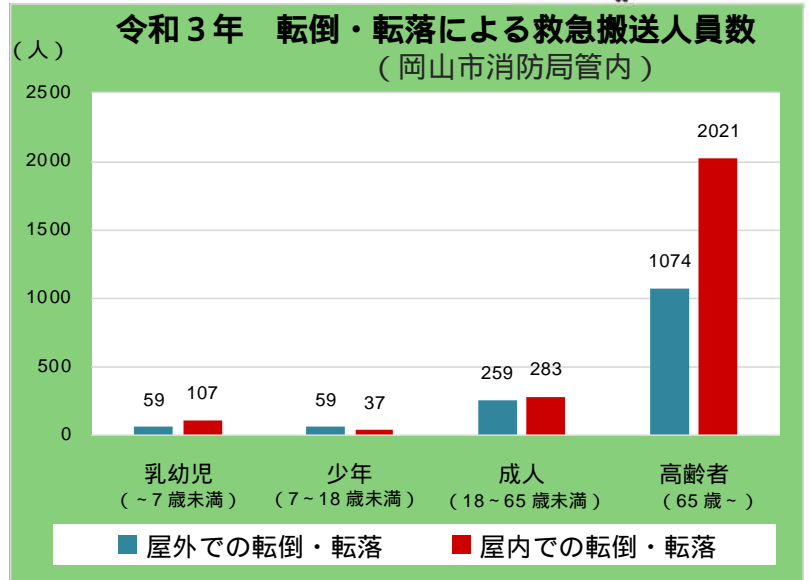
岡山市消防局



岡山市消防局マスコットキャラクター
『桃之助』

令和3年に岡山市消防局管内で発生した転倒・転落による救急搬送は**高齢者**の方(65歳以上)が大半を占めています。

また、屋外より**屋内**での転倒・転落が2倍近くを占めています。



住宅の中では**居室**や**廊下**、**階段**で多くの転倒転落災害が発生しています。つまり、住み慣れた家の中に多くの危険が潜んでいるということです。



住宅での転倒・転落事故発生状況

(岡山市消防局令和3年中救急搬送統計)



予防のポイント

家の中は**整理整頓**
 階段やベッド、廊下には手すりを
 階段や廊下に滑り止めを
 靴下やスリッパは滑りにくいものを
 階段や廊下に足元を照らすライトを

岡山市消防局は『**予防救急**』の取り組みを推進しています。
 「予防救急」とは? 救急車が必要となる病気やケガを未然に防
 ぐために、意識して行動することをいいます。



こちらのページは
岡山市消防局

制作



防ごう！職場の転倒災害

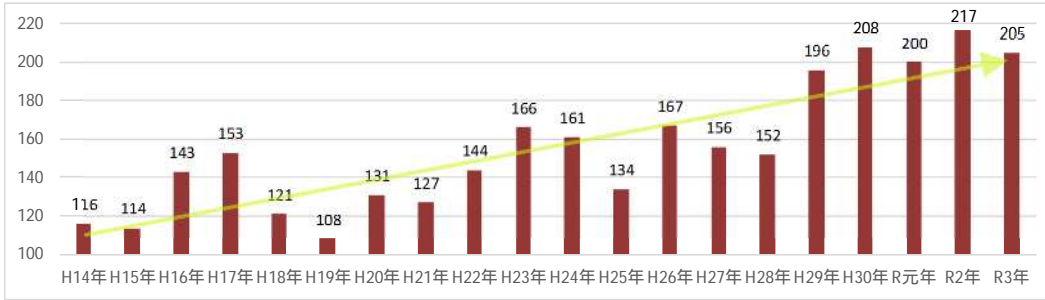


厚生労働省

岡山労働局・岡山労働基準監督署

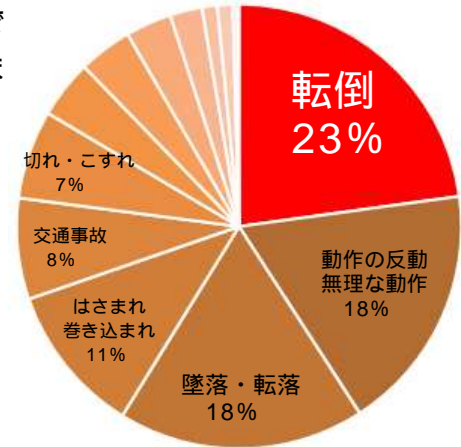
岡山労働基準監督署管内（岡山市・玉野市・瀬戸内市・吉備中央町の一部）では令和3年に休業4日以上**の労働災害（コロナ関係を除く）**が898件発生しました。そのうち205件が**転倒**によるものでした。

また、過去20年間を見ても、転倒災害の発生件数は大幅に増加していることがわかります。

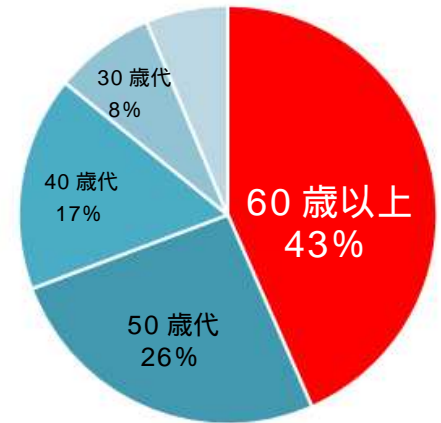


また、令和3年の**転倒災害**の被災者を年代別にみると、60歳以上が最も多く全体の43%を占めています。

定年の引き上げ等の影響で60歳以上の労働者の就労比率が高まり、高齢労働者の転倒災害の発生割合が年々高くなっています。



令和3年岡山監督署管内労働災害事故の型別割合



令和3年岡山監督署管内 転倒災害年齢別割合

転倒災害は怪我が重症化しやすい???

令和3年に発生した労働災害の平均休業見込日数は37.8日でした。しかし、転倒災害のみの平均休業見込日数は41.6日でした。転倒災害は怪我が長引く傾向にあるようです。

小さなことからコツコツと・・・ 職場での転倒予防に努めましょう！

滑り 予防ポイント

- 床の清掃をこまめに行い、水や油などは取り除くようにしましょう。
- 滑りやすい場所には、**注意を促す標識**をつけましょう。
- 転倒予防には**靴選びも大切**です。足のサイズにきちんと合わせて、靴底が滑りにくいものを選びましょう。また、靴底が大きくすり減ってきたら、すぐ買い替えましょう。



スマホなどを見ながら歩かず、**足元が見える状態**で歩きましょう。床の段差は、スロープで解消する、トラロープで段差をわかりやすくする、**注意喚起の標識を掲示**するなどの対策を行いましょう。

- 荷物は、通路、出入口などに放置せず、日ごろから**整理・整頓**を行いましょう。

つまずき 予防ポイント

踏み外し 予防ポイント

- 階段付近では十分な明るさを確保し、**足元が見える状態**で昇り降りしましょう。
- 階段には物を**放置せず**、日ごろから整理・整頓を行いましょう。



職場の労働災害は転倒災害に加え『**腰痛**』も増加傾向です。この機会に腰痛予防にも努めてください。



こちらのページは

岡山労働基準監督署

制作